











経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A202300060 2023-0176 2023/04/11 (事故発生地) 茨城県	パワーコンディショナ (太陽光発電システム用)	当該製品を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○当該製品は屋外用のパワーコンディショナであり、野立ての太陽光発電所に設置されていた。○当該製品は、太陽光パネルからのケーブルが接続されている入力開閉器端子台が著しく焼損しており、ケーブル先端の圧着端子部が溶融していた。○当該製品の回路基板等、その他の電気部品に焼損は認められなかった。○現地に設置されていた当該製品以外の同型式品11台について、入力開閉器端子台とケーブル圧着端子のねじ止めが緩んでいたことが確認された。○現地に設置されていた当該製品及び同型式品の入力開閉器端子台とケーブル圧着端子とのねじ止め部は、締付トルクの管理がされていなかった。●当該製品の施工時において、入力開閉器端子台へ接続するケーブル圧着端子のねじ止めが緩んでいたため、接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定される。なお、施工説明書には、「開閉器端子台には締付トルク1.6～2.0N・mでねじを締める。ねじが緩むと接触不良による発煙、発火のおそれがある。」旨、記載されている。	(受付:2023/04/26)
A202300069 2023-0185 2023/04/23 (事故発生地) 栃木県	エアコン	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○当該製品を新築住宅に取り付けた後の試運転中に当該製品背面側より出火した。○当該製品の配管等を室外に引き出す配管穴、及びその近傍に焼損が認められた。○当該製品内部の電気部品に短絡等出火の痕跡は認められず、電流ヒューズも切れていなかった。○取付工事時に施工した内外連絡線等の被覆に一部焼損が認められたが、素線に溶融痕等出火の痕跡は認められなかった。○事故発生場所は、高断熱高気密住宅であり、電気配線の設置完了後に配管穴に発泡ウレタンを吹きつける工法であった。●事故発生時の詳細な状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/04/28)
A202300083 2023-0213 2023/04/26 (事故発生地) 大阪府	電気掃除機(充電式、スティック型)	事務所で当該製品に他社製のACアダプターを接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○当該製品は、充電開始から約4時間経過後にバッテリーが焼損した。○バッテリーの焼損は著しく、樹脂外郭、リチウムイオン電池セル及び制御基板の焼損が認められたが、当該製品本体側に焼損等の異常は認められなかった。○当該製品に付属のACアダプターのDC出力電圧26V、電流0.8Aに対し、事故発生時に使用されていた他社製ACアダプターのDC出力は42V、2Aであった。○事故発生時に使用されていた他社製ACアダプターは、付属ACアダプターのDCプラグのサイズと同一であり、バッテリーのDCジャックに接続可能であった。○同等品バッテリーを他社製ACアダプターに相当する電圧と電流で充電を行ったところ、充電制御機能は異常を示さず、正常電圧で充電停止したが、制御基板に実装されたダイオードは著しく発熱した。●当該製品は、出力電圧電流の高い他社製ACアダプターを接続して充電したため、バッテリーの制御基板に実装されたダイオードに高電流が流れて異常発熱したことで、リチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「専用のACアダプター以外は使用しない。火災の原因になる。」旨が記載されており、バッテリー外郭両面にも「専用のACアダプター以外で充電しない。」旨の危険表示が記載されている。	(受付:2023/05/08)









経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A202300216 2023-0443 2023/05/05 (事故発生地) 滋賀県	電動工具（ドライバー、充電式）	作業場の車両内でバッテリーを装着した当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（A202300643と同一事故）  (火災)	調査の結果、○自動車内の助手席付近に、当該製品を含めバッテリーが取り付けられた電動工具が2台、バッテリーが取り付けられた充電器及びバッテリー単体が確認された。○当該製品は全体的に焼損しており、ハンドル部分の樹脂が焼失していた。○コントロール基板上の電解コンデンサーが開弁し、直下の樹脂製基板ケースに穴あきが認められたが、基板ケースに近接していた樹脂製端子台及び接続された内部配線に局所的な焼損及び断線等の異常は認められなかった。○バッテリーとの接続端子部に溶融等の異常は認められなかった。○当該製品に取り付けられていたバッテリーに出火の痕跡は認められなかった。○同一車両内で確認された別のバッテリーにおいて、リチウムイオン電池セルの一部に熱暴走した痕跡が確認された。○その他の電動工具、充電器及びバッテリーに出火の痕跡は認められなかった。●事故発生時の詳細な状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/06/15)
A202300218 2023-0445 2023/05/14 (事故発生地) 神奈川県	携帯電話機（スマートフォン）	店舗で当該製品を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○当該製品内蔵のバッテリーを交換する際に、修理事業者の技術者がケース内にねじを落としてしまい、ピンセットでねじを取り除こうとした際、バッテリーが発熱し、出火した。○バッテリーの交換作業をしていた修理事業者は、輸入事業者のトレーニングを受けた技術者が作業する正規サービスプロバイダ店であるが、輸入事業者以外の事業者が運営している修理拠点である。○バッテリーのリチウムイオン電池セルは、全体が焼損し、アルミラミネートフィルム外装の端部が一部破損して穴が空いていた。○外装が損傷した部位の付近で電池セルの電極体が損傷していた。●当該製品は、輸入事業者の正規サービスプロバイダ店の技術者がバッテリーを交換する際に、リチウムイオン電池セルを誤って損傷させたため、内部短絡が生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。	(受付:2023/06/15)
A202300221 2023-0448 2023/02/00 (事故発生地) 千葉県	エアコン	当該製品を使用中、当該製品の電源プラグを汚損し、周辺を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○当該製品本体に焼損は認められず、プラグを含む電源コードの一部にすすが付着していた。○エアコン専用コンセント上部の配線口出し部及び壁に固定されていた屋内配線が焼損していた。○当該製品は、プラグを含む電源コード、コンセント、屋内配線及びブレーカーを交換したところ正常に動作し、使用者により継続使用されている。●当該製品に出火の痕跡は認められず、接続していたエアコン専用コンセントからの出火による火災であり、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/06/16)































経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A202300146 2023-0309 2023/05/11 (事故発生地) 石川県	ガスこんろ（都市ガス用）	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。  (火災)	調査の結果、○使用者が当該製品の左バーナーで調理を開始して15分経過した頃に、当該製品の後方付近より煙が上がっていた。○当該製品の外觀は、トッププレート表面の左側及び背面左側のガス接続口付近が著しく焼損していた。○ガス接続口のホースエンドは欠損し、ガスホースの先端に焼損が認められた。また、ガスホースを固定するゴム管止めは、確認できなかった。○左バーナーは焼損していたが出火につながる異常はなく、右バーナー、電装部品等のその他部品にも出火の痕跡は認められなかった。○取扱説明書には、「ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ホースエンドの赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める。」旨、記載されている。●事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火の痕跡は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/05/22)
A202300155 2023-0334 2023/04/29 (事故発生地) 愛知県	石油ストーブ（開放式）	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。  (火災)	調査の結果、○当該製品を点火装置で点火し、その場を離れ、異臭がしたため確認すると、居室に煙が充満しており、炎が上がっていた。○当該製品は全体的に焼損していたが、樹脂製の火力調節つまみ及び電池ケースの一部が残存していた。○しん調節つまみ及びしんは自動消火位置であった。○燃焼筒の内部に異常なすすの付着は認められなかった。○カートリッジタンクはタンク室内に収まっており、口金に焼損は認められず、パッキンは残存していた。○油受皿に油漏れの痕跡は認められず、残存していた燃料は灯油であり、置台の油受皿下側部分に焼損は認められなかった。●事故発生時の詳細な状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火に至る異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/05/25)
A202300160 2023-0348 2022/12/20 (事故発生地) 富山県	石油ストーブ（開放式）	当該製品を使用中、当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。  (火災)	調査の結果、○当該製品を消火しカートリッジタンクを抜いた状態で移動させた際、当該製品本体から灯油が滴下したが拭き取らず、1時間後にマッチで点火したところ、燃焼筒から大きな炎が上がった。○当該製品のカートリッジタンクの口金キャップは正常に閉まっており、カートリッジタンク本体に穴空き等、油漏れの痕跡は認められなかった。○油受皿に穴空き等、油漏れの痕跡は認められなかった。○燃焼筒のガラスは破損していたが、金属部品に変形等、異常燃焼に至る異常は認められなかった。●事故発生時の詳細な状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火に至る異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	(受付:2023/05/29)





















